

市議会が2019年に開催されるラグビーワールドカップをPR!

豊田市議会では、2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップのPRと大会成功のため、開会日の6月9日にラグビーポロシャツを着用し、閉会日の6月26日に豊田市駅周辺でPRチラシを配布しました。



▲駅前PRチラシ配布の様子

豊田スタジアムは2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップの全国12会場の一つであり、開催予定である2019年9月から10月ごろには、多くの国と地域からの観戦者が本市に訪れることが予想されます。本市では、世界に豊田市をPRする絶好の機会と捉え、ラグビーワールドカップ2019推進課を設置し、大会成功に向け邁進しています。今回市議会としても大会を契機として本市が更に発展するために、積極的なPRを実施しました。



▲開会日にラグビーポロシャツを着用



▲ラグビーポロシャツ

全国市議会議長会表彰



平成29年5月24日に東京国際フォーラムで開催された全国市議会議長会定期総会において、7名の議員が10年以上表彰を受けました。6月定例会の開会前に議場において、三江弘海議長から表彰状が手渡されました。

◀写真前列右から牛田朝見議員、加藤和男議員、清水郁夫議員、山野辺秋夫議員、安藤康弘議員、桜井秀樹議員、根本美春議員

とよた市議会だより

豊田地域医療センター 情報システム大規模更新!



市議会の予定

9月市議会定例会は9月1日(金)開会予定です

ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】
豊田市議会事務局
〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地
TEL.0565-34-6665
FAX.0565-34-6566
Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

★代表・一般質問の様子を視聴できます★

豊田市議会 ホームページで ▶ インターネット録画放送 <http://toyota-shigikai.jp>
豊田市議会 検索 ▶ 「動画で見る代表・一般質問」をクリック!

「市議会だより」のバックナンバーや会議録もご覧いただけます。 <http://toyota-shigikai.jp/movie.html>

一般質問の様子をスマートフォン等から閲覧できるようになりました。 ※パケット通信が必要になりますので、携帯端末等での視聴はWi-Fi環境をおすすめいたします。

ケーブルテレビで ▶ ひまわりネットワーク 生中継&録画放送チャンネル/121ch(ひまわりチャンネル)

F M ラジオで ▶ FMとよた(ラジオ・ラフィート)生中継チャンネル/78.6MHz

※この冊子は、折込み「6月市議会定例会号」です。
※このページは裏面です。本紙から抜き取ってご覧ください。

■ トップインフォメーション 教えて!市議会ペンギン! 組織・役割編	2
■ 議案説明・討論 条例の一部改正・特別会計補正予算など	4
■ 議案審議結果	5
■ 常任委員会 付託案件を審査	6
市政を問う!	
■ 一般質問 19人の議員が質問	8
■ トピックス	
市議会が2019年に開催されるラグビーワールドカップをPR! など	12

表紙の写真
議案第72号から第75号の財産の取得について、豊田地域医療センター電子カルテシステム等を大規模更新します。写真は、豊田地域医療センターでの様子です。

定例会号
6月市議会
平成29年7月15日

教えて！市議会ペンギン！

議会の組織・役割編

豊田市議会キッズ用ページキャラクター「市議会ペンギン」

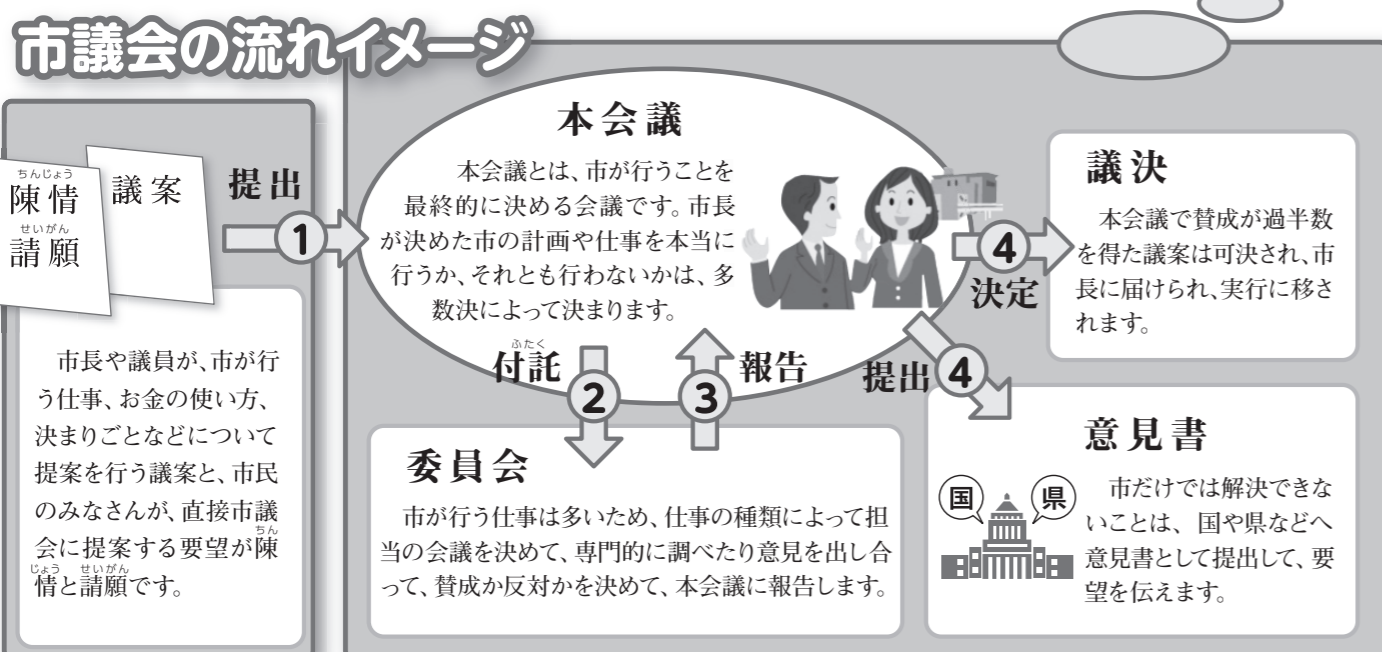
市民の代表として、よりよいまちづくりの実現を目指し活動する市議会ですが、選挙を経た後、どのような活動をしているのか、なかなか知る機会も少ないと思います。今回は、市議会にとっても詳しい「市議会ペンギン」が豊田市を支える市議会についてみなさんの質問にお答えします。

議会ってなぜ必要なのですか？

だれもが住み続けたいって思うまちにしていけるためには、住んでいる人全員で話し合うことが1番だね。でも全員が集まって会議をするなんて現実的に難しい。そこで、選挙によって代表者を選んでその人たちが話し合う場が議会なんだよ。
選挙によって決まった代表者を議員といって、市(行政)の取組をチェックしたり、住民の困りごとを市(行政)に伝えて、よりよいまちになるようがんばっているよ。

市議会ってどんなことを話し合っているのですか？

市議会は、年4回の定例会が(3月・6月・9月・12月 各25日間程度)開かれていて、その中で、一般質問や議案*についての質問などを行っているよ。市長から提出された議案*などは本会議*で質問を行ったあとに、さらに詳しく審査するため委員会*に付託*をして、審査したうえで決定するんだよ。議案は例えば条例を定めたり、学校の修理などテーマ・種類は、すごくたくさんあるんだよ。(下のイメージを参考にしね！)



議案を可決したり、否決したりするとどうなりますか。

議員は審査された議案を最終的に可決するか、否決するかを多数決で決定するよ。例えば公園の設置などの議案では、可決されれば実際に事業が進行していくことになるんだ。否決されれば、その逆でその議案の内容を再度考え直すことになるんだよ。

市議会議員は何人いますか？会派*(グループ)はありますか？

豊田市議会では、平成29年6月1日現在、44名(定数45名、欠員1名)の議員がいるよ。そして3名以上の議員のグループを会派と呼んでいるよ。
現在、自民クラブ(27名)市民フォーラム(10名)公明党豊田市議団(4名)の3会派と、会派ではないけれど、共産党豊田市議団(2名)とよた市民の会(1名)の議員がいるんだよ。

議会が開かれていないときは何をしていますか。

閉会中は、議会で話し合った内容をもとに地域で報告会を開催したり、地域の会合、行事などに参加し地域の困りごとなどの意見を聞き、市政に反映できるよう心がけているよ。
また、全国にはいろんな事業で先進的に取り組んでいる自治体が多くあるから、実際に勉強(視察)に行き、広い視野に立って市の取組に活かせるよう提言しているんだ。あとは、研修会や勉強会に出席して議員としてのスキルアップに励んでいるよ。

今後もより良い、市政のため尽力していきます！

市議会の主な仕事

- ①市の条例(きまり)を新しく決めたり、見直すことを決めたりしています。
- ②市のお金をどのように使うか(予算)を決めたり、そのお金が正しく使われたか(決算)どうか調べます。
- ③市の仕事が正しく行われているかどうかを調べたりしています。

さらに詳しく知りたい場合は豊田市議会ホームページ「僕と私のページ」をご覧ください

市議会ペンギンの議会ことば講座

本 会 議 …… 議員全員が議場に集まって、一般質問を行ったり、市議会の最終的な決定をする会議。
委 員 会 …… 議案や所管事項を分野ごとにさらに詳しく調査・審査する、議員8名～9名で組織する会議体。
議 案 …… 市長等から提出される話し合いのテーマ。条例の改正や予算などが中心。
付 託 …… 議案の詳しい話し合いや研究を委員会にゆだねること。
請 願、陳 情 …… 要望や意見を直接市議会へ提出すること。請願は議員の紹介が必要で、陳情はどなたでも提出できます。
会 派 …… 議会内に結成された同じ考え方をもちた議員の集まり。(豊田市の構成要件は3名以上)

条例の一部改正、工事請負契約の締結など23議案を議決

特定の事業の用に供する土地、家屋等にかかる固定資産税に特例措置を設けます

【議案第62号】豊田市市税条例の一部を改正する条例

地 方税法の一部改正に伴い、家庭の保育事業及び居宅訪問型保育事業の用に供する場合は、課税標準に係る特例措置の割合を2分の1、事業所内保育事業(利用定員が5人以下)及び企業主導型保育事業の用に供する場合は、3分の1とします。また、用語整理、個人市民税特例適用期限の延長等の改正を行います。

竜宮橋の橋りょう整備が始まります

【議案第66号】工事請負契約の締結について

(都市計画道路高橋細谷線竜宮橋橋りょう整備工事(その1))

都 市機能を高める道路ネットワークを形成するため竜宮橋の橋りょうを整備します。契約金額12億2364万円。平成31年7月31日完成予定。



竜宮橋完成イメージ

討 論

6月市議会定例会最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。*発言順に記載

大村 義則 市職員への全面的なフレックスタイム制度導入、反対

議案第59号: 反対。ワークライフバランスの充実による職員の意欲向上や超過勤務時間の縮減等が期待されているが、出退勤時間を個人に委ね、業務量の調整や労働時間管理ができない場合、長時間過密労働となりやすく、手段として不適切であると考え、反対。

深津 眞一 仕事と育児の両立、効率的な勤務の確保などに効果があり、賛成

議案第60号: 賛成。育児を行う職員が育児休業からの段階的に円滑な勤務移行が可能になることを始め、夫婦の育児分担などのライフサイクルに応じて、仕事と育児の両立ができることから、継続的、効率的な勤務の確保などの効果があり、賛成。

榎屋 小百合 女性活躍の推進とワークライフバランスの実現に期待し、賛成

議案第59号: 賛成。女性活躍の推進とワークライフバランスの実現を目的とするフレックスタイム制度の導入は、地方公務員にも求められており、一部試行期間を設け検証を行った結果を踏まえ、一人一人が輝き活躍できる社会の構築に寄与すると考え、賛成。

岡田 耕一 一般競争入札に関し、競争性の確保が図られていると確認し、賛成

議案第61号: 賛成。民間企業と異なる公務員の雇用形態では差があるが、激甚災害により心身に障がいを負うなどして退職を余儀なくされた職員が再就職のため、講習受講や情報収集等が必要であることや国県の影響などを考慮し、賛成。

中村 孝浩 本市初のPPP方式を採用、市民サービスの向上に寄与し、賛成

議案第60号: 賛成。フルタイムの半分程度の育児短時間勤務を新たに導入することにより、育児と仕事が両立しやすくなることを評価。今後は、保育師も含め制度を等しく利用できるための早期の職員確保など、さらなる子育て環境の展開に期待し、賛成。

議案第72号～第75号: 賛成。一斉更新することで、システムの互換性や安全性を確保できること、コストの削減ができることを確認。待ち時間の短縮やより安全性の高い医療が受けられるメリットもあり、市民の健康保持に寄与するものと評価し、賛成。

※議案名など一部省略して記載しています

6月市議会定例会に提出された案件

◆議案

採決結果	会派別賛否	※自民クラブは議長を除く							
		自民クラブ 26名	市民フォーラム 10名	公明党 4名	諸派 3名	賛成	反対	賛成	反対
原案可決		26	0	10	0	4	0	1	2
//		26	0	10	0	4	0	3	0
//		26	0	10	0	4	0	3	0
//		26	0	10	0	4	0	1	2
//		26	0	10	0	4	0	3	0
//		26	0	10	0	4	0	1	2
//		26	0	10	0	4	0	3	0
//		26	0	10	0	4	0	3	0
//		26	0	10	0	4	0	3	0
//		26	0	10	0	4	0	3	0
//		26	0	10	0	4	0	3	0
//		26	0	10	0	4	0	3	0
//		26	0	10	0	4	0	3	0
//		26	0	10	0	4	0	3	0
//		26	0	10	0	4	0	3	0
//		26	0	10	0	4	0	3	0
//		26	0	10	0	4	0	3	0
//		26	0	10	0	4	0	3	0
//		26	0	10	0	4	0	3	0
//		26	0	10	0	4	0	3	0
//		26	0	10	0	4	0	3	0
//		26	0	10	0	4	0	3	0
//		26	0	10	0	4	0	3	0
//		26	0	10	0	4	0	3	0
//		26	0	10	0	4	0	3	0

◆同意

第3号	農業委員会委員の選任(再任:浅見富士男氏はじめ5名。新任:石川幸子氏はじめ14名)	同意	26	0	10	0	4	0	3	0
4	人権擁護委員の推薦(再任:伊藤豊子氏、小幡満理子氏。新任:片山武文氏、山内敏之氏)	//	26	0	10	0	4	0	3	0

◆報告

第6号	専決処分報告(工事請負契約の変更3件、和解の成立1件)									
7	継続費等の報告(継続費、繰越明許費)									
8	専決処分報告(工事請負契約の変更1件)									

◆陳情

第1号	憲法をいかにして働く者の権利を守り、住民生活の向上、平和施策の充実を求める陳情書									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

常任委員会とは

常任委員会とは、地方公共団体の議会が地方公共団体の事務に関する調査、議案及び陳情等の審査を行わせるために、条例で定め常設する委員会のこと。本市では、以下の6委員会が常任委員会となります。

委員会

産業建設
委員会

6月15日、付託された4議案を審査し、議案のすべてを承認しました。他に陳情1件を報告しました。

【第66号】 工事請負契約の締結について（都市計画道路高橋細谷線電宮橋橋りょう整備工事(その1)）

質問 工期が3か年の継続工事となっている理由はなにか。

答弁 主な理由は3点である。工事時期が渇水期である10月から5月に制限されること。橋脚施工に先がけて作業用通路を確保するための仮橋や、河川の水を締め切る矢板施工に時間を要すること。新設橋の橋脚の高さが高く、躯体を1渇水期で構築することが困難なため、2期にわたる渇水期での施工となること。

【第76号】 財産の取得(豊田市宮樹木住宅)

質問 樹木住宅の建設に着手することになった経緯はどのようなか。

答弁 樹木住宅は、平成20年度に市営住宅の老朽化と、耐震対策等を理由に建替えを計画し、平成24年度から建築工事を予定していたが、厳しい経済状況のため、事業を延期することとした。第8次総合計画の策定の中で、多様なニーズにこたえる市街地定住の促進策等として、市営樹木住宅建替事業を再開することとなった。



▲樹木住宅外観イメージ

環境福祉
委員会

6月16日、付託された4議案を審査し、議案のすべてを全会一致にて承認しました。

【第72号】～【第75号】
財産の取得(地域医療センター電子カルテシステム)ほか3件

質問 豊田地域医療センターのシステム等の更新にあたり、更新の基準や時期の考え方はどのようなか。

答弁 電子カルテシステム導入後初の更新になるため、豊田地域医療センターの中に設置されているIT委員会などで、更新時期などについて検討してきた。その結果、良好な医療提供環境を確保することを優先することとし、機器の耐用年数等の関係上、今回更新することとした。これからも原則、耐用年数や保守期間の満了したものを更新するという考え方で進めていく予定である。

質問 災害時等に対し、バックアップ体制は確保されているか。

答弁 これまで同様の体制が確保されている。具体的にはデータの消失等を防ぐために、常に二つのサーバーに保存しており、定期的に自動で磁気テープに保存するなど行っている。また、今回の更新では、災害時でも診療が継続できるように、電子カルテシステムがインストールされていないパソコンでも、情報の一部が閲覧できるサーバーへの保存も行う。



▲豊田地域医療センター外観

教育社会
委員会

6月19日、付託された4議案を審査し、議案のすべてを全会一致にて承認しました。

【第68号】～【第71号】
工事請負契約の締結について(市立駒場小学校施設保全改修工事)ほか3件

質問 小・中学校のトイレ再整備は、箇所数での整備率は51.6%であり、残りは371箇所あると聞いているが、今後はどのように進めていくのか。

答弁 トイレ再整備については、早期整備を望む声が高いこともあり、保全改修に合わせた整備に単独整備を加えた加速化を維持できるよう努めていく。

質問 工事期間中の学校運営への配慮はどのようなか、特に夏休みの出校日の安全配慮はどのように行うのか。

答弁 学校行事や夏休みの出校日には、工事の一時的な中断を行うなどの対応を図るほか、工事中は、学校と施工業者が連絡・調整を適宜行い、作業エリアの区画やガードマンの配置など、子どもたちへの安全確保の徹底や、学校運営に極力影響の無いよう努めていく。



▲外壁保全改修工事完了後のイメージ(朝日丘中学校)

地域生活
委員会

6月20日、付託された3議案を審査し、議案のすべてを全会一致にて承認しました。

【第77号】～【第79号】
財産の取得(水槽付き消防ポンプ自動車)ほか2件

質問 今回更新される水槽付き消防ポンプ自動車のうち、2台を緊急消防援助隊へ登録し、国庫補助金の交付を受けるとのことだが、現在までの緊急消防援助隊への登録状況と、出勤実績はどのようなか。

答弁 緊急消防援助隊への登録は、県のガイドラインにより、本市に対して、平成30年度までに計17台の登録となるよう要望されている。現在は消火隊、救助隊、救急隊など、15台を登録しており、全ての愛知県隊を指揮する大隊長の代行の立場と消防相互応援の観点から、平成30年度に今回の2台を加えて、登録する予定である。

また、本市の出勤実績については、緊急消防援助隊の制度が発足した平成7年以降、平成16年の福井豪雨災害に1隊5人、平成23年の東日本大震災に40隊154人、平成26年の御嶽山噴火災害に2隊10人が出勤した。



▲水槽付き消防ポンプ自動車

企画総務
委員会

6月21日、付託された7議案を審査し、議案のすべてを全会一致にて承認しました。他に陳情1件を報告しました。

【第59号】 市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正条例

質問 職員のフレックスタイム制度導入により、市民への影響はどのようなか。

答弁 市民への影響は、基本的にはないと認識している。今回の条例改正により、職員が始業終業時間を選択することができるのは、公務の運営に支障がない場合に限っているため、所属長は、業務実施における適正な人員を確保するなどした上で、職員の申告を考慮しながら、勤務時間を割り振ることとしている。

【第62号】 市税条例の一部改正条例

質問 固定資産税の課税標準に係る特例措置の割合はどのように設定したか。

答弁 事業所内保育事業は、従業員枠以外にも地域枠を設けることが条件となっていることや、企業にとっても、従業員の確保につながる事業であると考えられることから、待機児童対策に効果が見込めると判断し、特例割合を3分の1とした。また、企業主導型保育事業についても、市の財政負担がないこと等から積極的に設置促進を図るべきと判断し、特例割合を3分の1とした。



▲育児休業復帰者向け研修の様子

予算決算
委員会

6月23日、付託された補正予算1議案を審査し、全会一致にて承認しました。

【第65号】 平成29年度
国民健康保険 特別会計
補正予算

質問 法律及びそれに関連する政令の改正により前期高齢者納付金が増加したとのことだが、具体的にはどのような改正なのか。

答弁 会社の健康保険組合などの被用者保険者への支援として、現在、前期高齢者納付金負担の特に重い保険者には、保険者相互の支え合いによる、負担軽減対策が実施されている。

今回の改正により、この軽減対象となる保険者の範囲が全保険者の上位3パーセントから10パーセントに拡大され、その拡大に伴う費用は、保険者と国費等で負担する。

委員会の開催

市議会定例会中に、議案等を詳細に審査する5つの常任委員会と予算と決算を審査する常任委員会(予算決算委員会)を実施しています。写真は、6月23日(金)に行われた予算決算委員会の様子です。



▲予算決算委員会の様子

市政を問う!

6月12日から14日にかけて、19人の議員が市政の方針や考え方などについて問う「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

一般質問

※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

鈴木 章
自民クラブ



- とよたビジョン
- こども園における安定的な給食の提供
- 歳入減を見据えた事業・事務最適化の取組

質問 見直しに向けた今後の進め方

今後、さらに厳しい財政運営が予想される中、計画的で効率的な経営を続けるための事業・事務最適化に対する市の考えを問う。

答弁 杉山副市長

市は様々な分野で行政サービスを展開・拡充してきたが、財政状況は、今後ますます厳しくなると予想している。歳入額の減少に合わせ歳出額の最適化、削減が必要であるが、市民や事業者への影響を考えると丁寧かつ慎重に進める必要がある。この取組で掲げる目標額62億円は大きな金額だが、今後の財政運営を考えると、今しっかり取り組まなければならない。市議会と共に考え、市民、事業者から意見を受けながら、進めていきたいと考えている。

大村 義則
諸派



- 地域医療に対する市の責任を果たしてほしい
- 児童扶養手当の支給回数の改善を

質問 在宅医療の推進

市南部地域で計画されている1次救急診療所の機能として休日救急内科診療所としての機能だけでなく、地域医療センターで進めているような在宅医療を行う部門を配置するよう提案するが考えを問う。

答弁 福祉部

南部の1次救急診療所は、医療対策懇話会の提言を踏まえ、救命救急センターを受診している軽症患者の分散先としての外来専門の診療所を設置するものであるため、在宅医療部門設置は想定していない。

神谷 和利
自民クラブ



- 全ての人に優しい分煙政策の実現
- 効率的・効果的な図書館運営の実現
- 教員の多忙化解消と中学校部活動

質問 条例制定に向けて

今年11月のKITARAオープンまでに路上喫煙防止条例の制定が間に合うのか、今後の条例制定のスケジュールを問う。

答弁 太田市長

条例の周知期間等を考えると、KITARAオープンには間に合わない。ただし、条例制定を問わず、豊田市駅周辺では現在も大量の喫煙者がいることや被服の焼け焦げ、やけど等の被害が報告されていることもあり、街の美観や安全安心の面から課題と捉えている。市として将来にわたり対応していくために条例制定は必要であり、今後は、パブリックコメント結果も踏まえ、十分議論し、しかるべき時期に議案を上程したいと考えている。

古木 吉昭
市民フォーラム



- 持続可能な地域づくりへの取組

質問 持続可能な地域づくりのための公共交通施策

路線バスの空きスペースを活用し荷物を輸送することで、バス路線の収益性が向上すると考えるが、導入の考えを問う。

答弁 都市整備部

バス路線を維持するためには、収益性の向上が重要であると考え、その手段として貨客混載は、収入増加の有効な手段として認識している。

とよたおいでんバスにおいても、宅配物など運搬の需要がある路線では、民間企業から貨客混載導入に向けた問い合わせがあることから、今後、運行事業者など関係者と調整し、実証に向けて協議をしていく。

羽根田 利明
自民クラブ



- まちなか活性化に向けた取組の推進

質問 まちなかの定住促進

中心市街地の活性化には、まちなか居住促進の取組が重要であると考え、都心部のマンション建設を支援する促進策について問う。

答弁 都市整備部

促進策としては敷地の共同化や建物の高層化を促すために、新たな支援制度の創設が必要と考えている。今後の進め方としては、現行の国県の支援制度を調査研究するとともに、市独自の支援についても、民間事業者と意見交換を行う中で、事業者や土地所有者が、より活用しやすい支援制度となるよう住宅マスタープランの中で方向性を示し、平成30年度には具体的な制度設計を検討していく。

○古木吉昭議員関連



とよたおいでんバス

○神谷和利議員/羽根田利明議員関連



KITARAイメージ(豊田市駅前通り北地区市街地再開発事業)

大石 智里
公明党



- 中小企業等の活性化を支援する相談窓口
- 食品ロス削減の取組
- WE LOVE とよたを促進する市政発信

質問 フードバンク、フードドライブの取組

フードバンク・フードドライブの活動はCO₂の削減や廃棄物処理費用削減の観点からも有効と考えるが、取組の考えを問う。

答弁 環境部

フードバンク等の活動は、食品ロス対策に有効であると考えており、現在、活動に関する調査を関係団体等に行っているところである。これらの活動は、市民や事業者の協力が不可欠であるため、関係団体などの調整を行いながら、市の関係する部署とも連携して進めていきたいと考えている。

岩田 淳
自民クラブ



- ラグビーワールドカップ2019成功に向けて

質問 ラグビーワールドカップ2019推進課が担う役割

開催都市である本市にとってラグビーワールドカップ2019を成功へと導くとは、何を示し何を持って成功と捉えるかを問う。

答弁 経営戦略部

組織委員会が掲げる4つの大会ミッション、世界の人々をおもてなし、すべての人々が楽しめる、ラグビーの精神を世の中に伝える、アジアでのグローバルスポーツの発展の達成に寄与することが必要である。そのため、より多くの市民が大会に関わり、国際交流を推進する人材育成やスポーツ振興等を実施する。これらの取組により、豊田スタジアムが国内外からの観客でいっぱいになり、豊田市を楽しみ、満足してもらえることが大会の成功と考える。

日當 浩介
市民フォーラム



- 市内消費の向上による地域経済の活性化

質問 市外への流出防止と市外から呼び込む取組

近隣市大型施設の活用や郊外への魅力ある商業施設の誘致による市内消費の拡大について考えを問う。

答弁 産業部

刈谷ハイウェイオアシスは全国屈指の集客を誇る施設であり、スマートICが開通すれば、道路交通ネットワークの面で利便性が増し、市のポテンシャルを高めることになる。この環境を活用した市内消費の拡大の策として具体的には検討していないが、注視していく。現在推進している豊田市商業活性化プランでは、競争力のある中心市街地商業の構築、地域コミュニティを担う商業機能の強化を考えているため本市郊外の大規模商業施設の立地は想定していない。

根本 美春
諸派



- 給食は保育・教育の一環を基本に
- 放課後児童クラブの民間委託計画は中止を

質問 民間委託の目的と支援員の確保

長期休暇中の支援員・補助員の配置をどう把握するか。また、支援員・補助員確保に向けた委託事業者への指導について問う。

答弁 子ども部

運営事業者からの報告により、参加児童数に応じた配置基準に基づき、支援員・補助員が適正に配置されていることを確認している。また、支援員・補助員の雇用人数やシフト体制については、各運営事業者に委ねている。

木本文也
自民クラブ



- 認可地縁団体への移行に向けた取組
- 男女共同参画社会の実現

質問 認可地縁団体への移行

認可申請の条件を緩和させ、認可地縁団体の移行を加速させるべきと考えるが、市の見解を問う。

答弁 地域振興部

認可地縁団体制度の目的は、法人格の付与により、自治区等が保有する不動産を団体名義で登記することを可能にし、財産保有上の制約を除くことにある。地域集会施設などの財産を将来に渡って健全に保有するのは、地域にとって重要であり、議決の際に必要な人数要件である全構成員の4分の3以上の同意という規定は一定の障壁になっていると考える。今後、人数要件を緩和すべく検討を進め、団体の意思決定における負担軽減を図りたい。

○岩田淳議員関連

世界一熱いラグビーを届けよう。
TRY FOR ALL
RUGBY 2019 AICHI-TOYOTA

ラグビーワールドカップ2019TM愛知・豊田ロゴ

詳細については

市議会ホームページ内の録画映像か、市役所市政情報コーナー(南庁舎1階)、中央図書館、コミュニティセンター、地区交流館に配布する8月下旬発行予定の会議録をご覧ください。



市政を問う!

議員氏名
会派名



○一般質問の大きなテーマ(大項目)
●以下の質問に関連している項目

質問 一般質問の小さいテーマ(中項目)
答 弁 回答した部局長
実際に質問した内容(小項目)
質問に対する市の担当部局の回答

吉野 英国

市民フォーラム



- 交通事故削減に向けた取組

質問 安心して通行できる環境整備

安全な自転車通行空間整備には十分な道路の幅員を考慮した整備が必要と考えるが、市民の声を活かし、どのように整備するか問う。

答 弁 建設部

自転車通行空間も幅員が狭いという市民の声を活かし、平成28年度から車道中央部のゼブラ帯の幅員を減少させ、自転車通行空間の幅員を広げる対応を講じている。今後の整備方針は、現計画での整備が今年度完了予定であるため、整備を終えた路線について継続的に効果検証を行うとともに、推進会議の中で次期整備路線の抽出や整備形態について協議を進め、歩行者・自転車・自動車と譲り合える安全で快適な利用環境を目指していく。

原田 隆司

自民クラブ



- 日本の道徳と国際化に適應する教育のあり方
- 外国人居住者の現状と共生

質問 国際化に向けた外国語授業のあり方

学習指導要領改訂を受けて、総合的に目指す子どもの将来像はどのように描かれているかを問う。

答 弁 学校教育部

道徳、プログラミング的思考の育成、外国語教育の視点から子どもの将来像を、道徳的価値を多面的・多角的にとらえることができる豊かな心を持ち、課題に直面した時に、論理的思考力によって問題を解決し、グローバルな社会を生き抜くコミュニケーション能力を備えた人物像を描いている。子どもたちには社会環境の変化が激しい中でも夢や生きがいを持ち、自分の豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の担い手として、活躍できる人となることを願っている。

水野 博史

自民クラブ



- 矢作川の整備計画と災害対策
- 災害時の緊急物資輸送対策

質問 救援物資等受入施設の現状

救援物資等受入施設に様々な課題があると感じるが、救援物資等受入施設の課題と対策の市の考えを問う。

答 弁 地域振興部

平成27年度に豊田スタジアム地下2階駐車場において災害時の物資荷降ろし訓練を実施し、大型トラックのウイングが全開できないことや、想定通りのレイアウトにできないなどの課題が見つかった。平成28年度にはトヨタ自動車、ヤマト運輸、本市の3者で、救援物資等受入施設の現地確認に関する協議を実施し、チェックシート等も作成した。平成29年度には、そのチェックシートを活用し、現在指定する救援物資等受入施設が活用可能か現地確認していく予定である。

宮本 剛志

自民クラブ



- 映画を活かしたシティプロモーション
- 観光まちづくり戦略

質問 映画「めぐるの町」制作までの流れ

効果的な宣伝配給事業を進め、市の魅力を全国に発信するために、映画配給の見込みと予定動員数を問う。

答 弁 経営戦略部

映画を通じて全国に本市の魅力を伝えるため全国の映画館40館規模での配給を予定しており、民間出資者に出資金を返済するためにまず観客数約9万人、興行収入にして約1億2000万円は達成していきたいと考える。その上で目標とする観客数は、本市の魅力も多くの方に知ってもらいたく、全国で約23万人、興行収入にして約3億円を目標としている。今後の目標達成に向けて、民間のノウハウを活用した効果的な宣伝事業を全国で展開していく。

日恵 野雅俊

自民クラブ



- また訪れたい街づくり
- 火災予防の推進
- 第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

質問 第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定

特別養護老人ホームへの入所希望について、実質的な待機者数をどのように把握するか問う。

答 弁 福祉部

特別養護老人ホームの待機者は平成28年9月末現在405人で、うち心身の状況、家族・介護者の状況、在宅生活困難度の状況から、入所の必要性が特に高いと判断される方は184人である。この405人のうち、1ヶ月以内に入所したいと希望する人は103人であり、待機者も介護者や家族形態によって実情は様々である。今回の計画策定にあたっては、待機者の状態を改めて詳細に分析し、7期計画に反映していきたい。

○吉野英国議員関連



自転車通行空間(矢羽根型路面表示)の整備

○水野博史議員関連



防災訓練/物資の搬送

岡田 耕一

諸派



- 豊田市民山の家 リゾート安曇野の廃止検討

質問 これからのリゾート安曇野

税負担を大幅に削減できるならリゾート安曇野存続を再検討すべきだ。市の税負担が軽減できても廃止を強行するのかを問う。

答 弁 産業部

市民山の家については、一定の役割を果たしたと考えている。料金設定を変更しても、観光に対するニーズの多様化や安価で多様な宿泊施設も存在しており、宿泊旅行市場の動向や宿泊施設、民間事業者によるサービス提供の状況、民間との競合の影響など観光市場の中で事業の成立性が大きな課題である。それらを踏まえ、現在、廃止の方向で検討している。今後、市民に対し丁寧に説明していく。

桜井 秀樹

市民フォーラム



- 豊田市にふさわしい立地適正化計画策定に向けて

質問 今後の取組

将来を見据え立地適正化計画策定に踏み切ったことを評価しつつ、市が描く都市像を含め計画策定にかけ市長の想いを問う。

答 弁 太田市長

立地適正化計画策定は、豊田市版コンパクトシティの実現を目指すものであり、超高齢社会に適應したまちづくりを進めるため重要と考える。第8次総合計画の将来都市像である「つながる・つくる・暮らし楽しむまち・とよた」の実現に向けて、誇りと愛着を持ったまちづくりを展開することが市の持続的な発展を支えると考えている。鉄道駅を中心とした歩いて暮らせるまちづくりを柱としながらも郊外でも一定の利便性を確保した本市独自の考え方を盛り込んでいきたい。

田代 研

公明党



- 高齢者施策

質問 バリアフリー

急速な高齢化の進行などから洋式トイレの需要が高まるが、スポーツ施設のトイレ洋式化の整備計画について問う。

答 弁 生涯活躍部

スポーツ施設のトイレの洋式化については、現在、具体的な整備計画はないが、施設の老朽化や利用状況、利用者の要望等を踏まえ、必要に応じて実施していく。豊田市運動公園については、平成29年度中に陸上競技場のトイレの洋式化を実施する予定である。

鈴木 孝英

市民フォーラム



- 安心して子どもを預けられる保育環境の整備
- 高齢者が活躍できる環境整備

質問 保育師の確保に向けた環境整備

保育の受入枠拡大の面からも保育師の確保は重要だと考えるが、こども園の民間移管も踏まえ、現状と今後の見込みを問う。

答 弁 子ども部

保育師の確保は厳しい状況であるが、新規採用保育師の確保に努め、毎年50人以上の正規保育師を採用しており、潜在保育師の活用に向け、募集記事の掲載や募集用ポスターの掲示、退職された保育師への声かけなど、様々な募集を行っている。現在、公立こども園の民間移管を順次進め、公立園では移管による園の保育師を引きあげ、他の園へ配置できるが、私立園を含め、市全体として捉えた場合、厳しい状況に変わりはないことから、積極的な取組を進める。

議会傍聴に お越しく下さい

●議会の傍聴とは

本会議や委員会の様子は、子どもを含めどなたでも傍聴していただけます。当日、傍聴受付で住所・氏名を記入し、傍聴券が交付された後、会場へ出入りできます。車いすでの傍聴や盲導犬・介助犬を伴った傍聴も可能です。また、手話通訳者をご希望の方は、5日前までに議会事務局までお申し込みください。



★代表・一般質問の質問者や質問項目は、市議会ホームページで事前に公開しています。

市議会ペンギンからの傍聴中でのお願い。
傍聴される際は、静粛にお願いします。

●議場の見学とは

本会議を開催していない日は、議場を見学することができます(土・日・祝日を除く)。職員のご案内しますので、見学をご希望の際は、事前に議会事務局までご連絡ください。

また、各種団体での受入れもしておりますので、お気軽にご相談ください。

●お問い合わせは豊田市議会事務局まで

傍聴受付

※会議が始まる30分前から受付
本会議→市役所南庁舎8階
委員会→同7階委員会室前

※期間や日程は市議会だより、市議会ホームページなどをご参照ください。